

平成27年11月11日

関係団体 各位

鹿児島県保健福祉部介護福祉課長

平成27年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修  
(不特定多数の者対象)の実施について(案内)

平素より本県の介護福祉行政の推進に御協力いただき感謝申し上げます。

さて、平成24年4月に改正された社会福祉士及び介護福祉士法の規定に基づく介護職員等を対象とする標記研修について、県に登録している下記の登録研修機関において実施されますので、お知らせします。

つきましては、貴団体の会員等に対して周知してくださるようお願いいたします。

なお、開催要項は、各登録研修機関のホームページに掲載されるほか、県ホームページからもご覧いただけます。詳細につきましては、登録研修機関に直接お問い合わせください。

記

【医療法人天百合会】

(1)開始日及び場所

平成28年1月13日(水)～

医療法人天百合会 ふるた介護リハビリセンター5階研修室

(2)ホームページ

<http://amayurikai.or.jp/>

※詳細は別添の開催要項のとおり

※県ホームページ

<http://www.pref.kagoshima.jp/ae05/kenko-fukushi/koreisya/jigyosha/tankyuin/kensyu.html>

(ホーム>健康・福祉>高齢者・介護保険>県内の事業者の方へ>たんの吸引等に関する登録研修機関及び研修の実施について(不特定多数の者対象))



## 介護職員等のたんの吸引等の実施の為の研修受講生募集

医療法人 天百合会ふるたクリニックでは、平成 24 年 4 月から施行された介護職員等によるたんの吸引等の制度について、必要なケアをより安全に提供し適切なたんの吸引等を行うことができる介護職員等を養成することを目的とする研修事業を以下のとおり開催します。受講希望の方は、以下の要領及び注意事項をよくお読みの上、所定の期間内に申してください。

### 1 受講対象者

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、有料老人ホーム、等の介護関連施設、障害者(児)施設等(医療施設を除く)、訪問系サービス等に勤務の介護職員等(介護福祉士を含む)でなお且つ自施設にて実地研修の受講が可能な方※1を対象とします。

※1 「実務経験3年以上で指導者研修を修了した指導看護師等がいる事」など別紙「実地研修に係る確認事項チェックシート」をご参照ください。

### 2 研修期間・場所

平成28年1月13日～3月13日

研修日程 (講義は毎週水曜日・演習は日曜日)

講義: 1/13・20・27・2/3・10・17・24・3/2

演習: 3/6・13

会場: 医療法人天百合会 ふるた介護リハビリ  
センター5階研修室

3 定員 : 30名

4 受講料 : 38,000円税込

※別途テキスト、賠償責任保険加入料が自己負担になります。

※テキストは中央法規「喀痰吸引・経管栄養研修テキスト」を使用します。

### 5 受講までの流れ

- ①電話・FAX・メールにて申込用紙の請求  
(申込用紙は、WEBサイトからも出力できます)
  - ②申込用紙に必要事項を記入し、当法人にFAX・郵送・メールにて申込  
をお願いします。
  - ③受講決定通知書を所属施設・事業者宛てにFAXにて連絡する。
  - ④ご入金(開講3日前までに納入をお願いします。)
- ※④まで終わったら手続き完了です。

申込締切 **平成27年12月26日(土曜日)**

お問い合わせ先

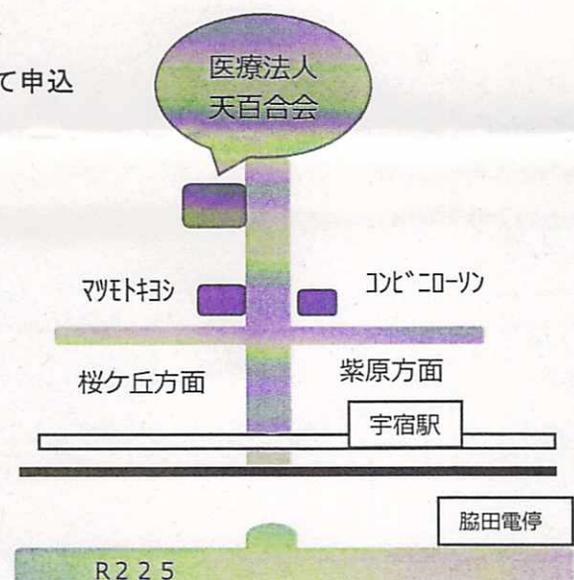
医療法人天百合会ふるたクリニック

鹿児島県鹿児島市宇宿9-6-5

TEL 099-203-0861・FAX 099-203-0862

医療法人 天百合会

担当: 中村・中俣・藤原



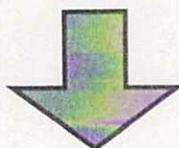
受講申込書

年 月 日

フリガナ		性別
氏名	Ⓜ	男 ・ 女
生年月日	昭和 ・ 平成 年 月 日生 ( 歳)	
現住所	(〒 - )	
電話番号	TEL ( ) FAX ( ) 携帯 ( )	
E-mailアドレス		
勤務先名		
勤務先住所	TEL ( ) FAX ( )	
予定する研修の種類	<input type="checkbox"/> 第1号研修 <input type="checkbox"/> 第2号研修	
保有資格		
実務経験年数(通算)	年 カ月	
確認欄	<input type="checkbox"/> 「実地研修に係る確認事項チェックシート」を添付している <input type="checkbox"/> チェックシートを確認したうえで自施設・事業所で実地研修が可能である	
受講に当たっての想いをご記入下さい。		
.....		
.....		
.....		
.....		
備考		

※本人確認を行いますので、本人と確認できるもの（運転免許証、パスポート、健康保険証など）ご持参ください。

※個人情報について、ご記入いただいた個人情報は、当研修以外の目的には使用いたしません。



**FAX 099-203-0862**

介護職員等によるたん吸引等の実施の為の研修

実地研修に係る確認事項チェックシート

受講申込者名( ) 施設・事業者名( )

実地研修開始日までに、国の研修事業実施要綱に定める下記の要件を満たしている必要があります。実地研修開始日までに要件を満たしていること(見込含む)を確認しチェック欄に記入してください。

記入日：平成 年 月 日

要件	チェック欄
1 吸引等実施対象者本人とその家族が実地研修の実施に協力できること。	<input type="checkbox"/>
2 医療、介護等の関係者による連携体制があること。	<input type="checkbox"/>
3 実地研修を受ける介護職員等を受け入れる際、実地研修の場において介護職員等を指導する指導講師(指導者講習修了者又は医療的ケア教員講習会修了者)について、介護職員等数名につき、1名以上の配置が可能であること。(訪問介護事業者にあつては、訪問看護事業者と連携の上、実地研修の場において指導者講師について、介護職員等数名につき、1名以上の確保が可能である場合も含む。)	<input type="checkbox"/>
4 指導講師は臨床等での実務経験を3年以上有し、指導講習者等を受講していること。または、今後指導講習等を受講することを了承している看護師等を確保していること。(准看護師は不可)	<input type="checkbox"/>
5 有料老人ホーム、グループホーム、障害者(児)施設等においては、常勤の看護師の配置又は医療連携体制加算をとっていること。	<input type="checkbox"/>
6 過去5年以内に、都道府県から介護保険法第91条の2に基づく勧告、命令及び第92条に基づく指定の効力の停止(障害者自立支援法、児童福祉法等による同様の勧告等を含む)を受けたことがないこと。	<input type="checkbox"/>
7 たんの吸引及び経管栄養の対象者が適当数入所又はサービスを利用していること。 口腔内の喀痰吸引( )名 鼻腔内の喀痰吸引( )名 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養( )名 気管カニューレ内部の喀痰吸引( )名・経鼻経管栄養( )名	<input type="checkbox"/>
8 施設又は事業者の責任者及び職員が実地研修の実施に協力できること。	<input type="checkbox"/>
9 利用者に関するたんの吸引等について、配置医又は実施施設と連携している医師、指導講師及び介護職員等の参加の下、技術の手順書が整備されていること。	<input type="checkbox"/>
10 実施施設の施設長が最終的な責任を持って安全の確保のための体制の整備を行うため施設長の統括の下で、関係者からなる安全委員会が設置されていること。	<input type="checkbox"/>
11 利用者の健康状態について、施設長、配置医又実施施設と連携している医師、主治医(別途主治医がいる場合に限る)、指導講師、介護職員等が情報交換を行い、連携を図れる体制の整備がなされていること	<input type="checkbox"/>
12 指示書や指導助言の記録、実施の記録が作成され、適切に管理・保管されていること。	<input type="checkbox"/>
13 ヒヤリハット事例の蓄積・分析など施設長、配置医又は実施施設と連携している医師、指導講師、介護職員等の参加の下で、実施体制の評価、検証を行うこと。	<input type="checkbox"/>
14 緊急時の対応の手順があらかじめ定められ、その訓練が定期的になされているとともに、夜間をはじめ緊急時に配置医又は実施施設と連携している医師、指導講師との連絡体制が構築されていること。	<input type="checkbox"/>
15 施設内感染の予防等、安全・衛生面の管理に十分留意すること。	<input type="checkbox"/>

▼以下要件は必ずしも満たしている必要はありません。

要件	チェック欄
16 人工呼吸器装着者が入居またはサービスを利用しており実地研修対象者とする予定で、なお且つ対象者本人とその家族が実地研修の実施に協力できる。	<input type="checkbox"/>

## 研修日程表

研修事業名称： 介護職員等のたん吸引等の実施の為の研修

日付	時間	時間数	研修科目	主な内容	講師																						
1	1/13 (水)	8:45~9:00	0.5	開講式・オリエンテーション		事務局																					
		9:00~9:30	1.5	人間と社会	①個人の尊厳と自立	0.5	藤原 稔子																				
		9:30~10:00			②医療の倫理	0.5																					
		10:00~10:30			③利用者や家族の気持ち、説明と同意	0.5																					
		10:30~11:30	2.0	保健医療制度とチーム医療	①保健医療に関する制度	1.0	藤原 稔子																				
		11:30~12:00			②医行為に関する法律	0.5																					
		12:00~12:30			③チーム医療と介護職との連携	0.5																					
13:30~15:30	4.0	安全な療養生活	①たんの吸引や経管栄養の安全な実施	2.0	古田 聡美																						
			②救急蘇生法	2.0																							
2	1/20 (水)	9:30~10:00	2.5	清潔保持と感染予防	①感染予防	0.5	小松 加代子																				
		10:00~10:30			②職員の感染予防	0.5																					
		10:30~11:00			③療養環境の清潔、消毒法	0.5																					
		11:00~12:00			④滅菌と消毒	1.0																					
		13:00~14:00	3.0	健康状態の把握	①身体・精神の健康	1.0																					
		14:00~15:30			②健康状態を知る項目(バイタルサインなど)	1.5																					
15:30~16:00	③急変状態について	0.5																									
3	1/27 (水)	9:00~10:30	11.0	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論	①呼吸のしくみとはたらき	1.5	天達 真由美																				
		10:30~11:30			②いつもと違う呼吸状態	1.0																					
		11:30~12:30			③たんの吸引とは	1.0																					
		13:30~15:30			④人工呼吸器と吸引	2.0																					
		15:30~16:30			⑤小児の呼吸について	1.0																					
		16:30~17:00			⑥呼吸を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5																					
		4			2/3 (水)	9:00~10:00		8.0	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説	⑦呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)	1.0	松浦 真理															
10:00~11:00	⑧たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認					1.0																					
11:00~12:00	⑨急変・事故発生時の対応と事前対策					2.0																					
13:00~14:00	8.0	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説	①たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1.0	天達 真由美																						
14:00~15:00			③たんの吸引に伴うケア	1.0																							
15:00~16:00			④報告及び記録	1.0																							
6	2/17 (水)	9:00~12:00	10.0	高齢者及び障害児・者の経管栄養概論	②吸引の技術と留意点	5.0	上床 牧子																				
		13:00~15:00			②吸引の技術と留意点	5.0																					
		15:00~16:30			①消化器系のしくみとはたらき	1.5																					
		9:00~10:00			②消化・吸収とよくある消化器の症状	1.0																					
		10:00~11:00			③経管栄養法とは	1.0																					
		11:00~12:00			④注入する内容に関する知識	1.0																					
		13:00~14:00			⑤経管栄養実施上の留意点	1.0																					
		14:00~15:00			⑥小児の経管栄養について	1.0																					
		15:00~16:00			⑦経管栄養に関係する感染と予防	1.0																					
		16:00~16:30			⑧経管利用を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5																					
7	2/24 (水)	9:00~10:00	8.0	高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説	⑨経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	1.0	天達 真由美																				
		10:00~11:00			⑩急変・事故発生時の対応と事前対策	1.0																					
		11:00~12:00			①経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1.0																					
		13:00~14:00			③経管栄養に必要なケア	1.0																					
		14:00~15:00			④報告及び記録	1.0																					
8	3/2 (水)	9:00~12:00	5.0	経管栄養の技術と留意点	②経管栄養の技術と留意点	5.0	上村 香織																				
		13:00~15:00			②経管栄養の技術と留意点	5.0																					
		15:00~15:30			演習・実地研修の留意点・試験の注意																						
15:30~17:00	1.5	筆記試験		事務局																							
10	3/6 (日)	9:00~17:00	8.0	グループ演習	<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">ケア等の種類</th> <th>実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">たんの吸引</td> <td>口腔内吸引</td> <td>5回以上</td> </tr> <tr> <td>鼻腔内吸引</td> <td>5回以上</td> </tr> <tr> <td>気管カニューレ内部</td> <td>5回以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経管栄養</td> <td>胃ろう又は腸ろう</td> <td>5回以上</td> </tr> <tr> <td>胃ろう又は腸ろう(半固形)</td> <td>5回以上</td> </tr> <tr> <td>経鼻経管栄養</td> <td>5回以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2">救急蘇生法</td> <td>1回以上</td> </tr> </tbody> </table>		ケア等の種類		実施回数	たんの吸引	口腔内吸引	5回以上	鼻腔内吸引	5回以上	気管カニューレ内部	5回以上	経管栄養	胃ろう又は腸ろう	5回以上	胃ろう又は腸ろう(半固形)	5回以上	経鼻経管栄養	5回以上	救急蘇生法		1回以上	古田 聡美 高祖 由美 池畑 かつ江 上床 牧子
					ケア等の種類		実施回数																				
たんの吸引	口腔内吸引	5回以上																									
	鼻腔内吸引	5回以上																									
	気管カニューレ内部	5回以上																									
経管栄養	胃ろう又は腸ろう	5回以上																									
	胃ろう又は腸ろう(半固形)	5回以上																									
	経鼻経管栄養	5回以上																									
救急蘇生法		1回以上																									
11	3/13 (日)	古田 聡美 梶原 愛乃 前野 智子 下坂元 美佐子																									